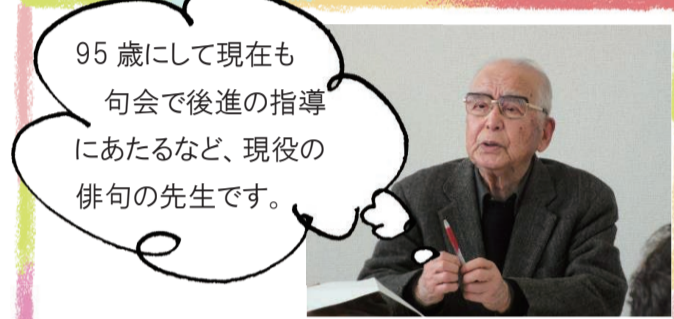




第5回
新春！俳句を作ってみよう

5回目は八女文化連盟俳句部の 堤呼秋先生をお迎えして俳句講座を行いました。俳句の二大条件である「五・七・五の定型」「季語」や文体、仮名遣いを学び、まずは五・七・五の形を作ってみよう！と、いきなり一句詠んでみることに。先生が、一人一人丁寧に添削して回られました。



95歳にして現在も句会で後進の指導にあたるなど、現役の俳句の先生です。

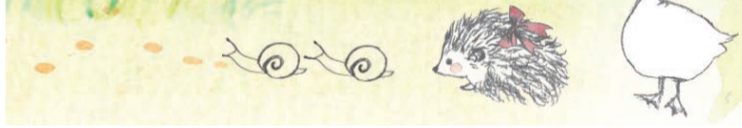
受講生の皆さんからのアンケートには「とても分かりやすく、俳句を作る意欲が湧いてきました。楽しかった」「ご高齢の先生の俳句に対する姿勢に目を見張る思いがしました」などの感想が続々とありました。

NPO Manabitto yahime news ~図書館だより~
なかよし八暖
No. 40 2016. 5



としょかん大人塾
全6回が終了しました

八女市役所地域づくり・文化振興課が「市民との協働によるまちづくり」提案事業として募集し、26年度に引き続き、27年度もわたしたちの事業が採択されました。「読書を通じた市民生活向上応援プロジェクト」として、全6回の講座を開催しましたが、今回は5回目、6回目の様子をお伝えします。



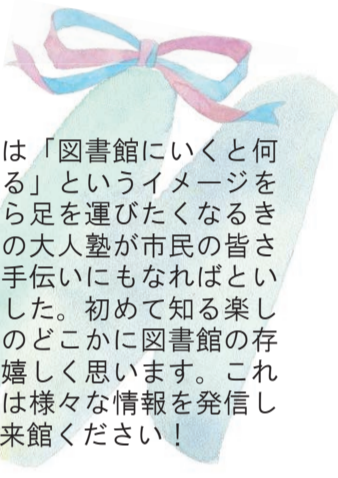
第6回
落語を知って楽しもう

その正体は、大牟田市立図書館の館長さん！近年ではボランティア活動として様々な場でご活躍中とのことです。

最終回となる6回目は、笑って締めたいという思いから落語講座を行いました。南筑後でご活躍中の愛志亭多夢礼さんをお迎えして、『浮世床』『金明竹』の落語、幕間に豆知識や落語家さんの裏話を楽しみました。『金明竹』では難解な長ぜりふをスラスラと言いつたられ、受講生の皆さんからたくさんの拍手が起こりました。初めて落語を生で鑑賞したという方も多かったようで、「久しぶりによく笑った」「もう一度聞きたい」などの感想をいただきました。

<最後に...>

“としょかん大人塾”は「図書館にいくと何か楽しいことがある」というイメージを持っていただき、普段から足を運びたくなるきっかけ作りに、また、この大人塾が市民の皆さんの生きがいづくりのお手伝いにもなればという思いから実施してきました。初めて知る楽しさ、そして皆さんの生活のどこかに図書館の存在を感じていただくと嬉しく思います。これからも八女市立図書館では様々な情報を発信していきますので、ぜひご来館ください！



第10回古本市を開催しました

平成28年2月11日(祝・木)に第10回古本市を開催しました。当日、会場のおりなす八女・桜カフェでは親子連れの方々を中心にたくさんの方がご来場されました。ここでは皆さんからご提供いただいた本を販売し、35,590円の収益となりました。

今回は、その収益金で大型紙芝居1点と一般図書46点、児童図書21点を購入し、八女市立図書館へ寄贈しました。ぜひご利用ください。たくさんのご協力、ありがとうございました！



不要本を集めています

今年度も古本市開催のために不要本を集めています。詳しくはカウンターでお尋ねください。



【受付】八女市立図書館 本館カウンター
【対象】単行本・文庫本・児童書・絵本
雑誌・コミック
※汚破損が激しいものや百科事典は、対象外とさせていただきます。

寄贈図書を紹介します

『もみもみおいしやさん』(大型紙芝居)

とよた かずひこ/脚本・絵
童心社(JCモ)



もみもみおいしやさんの、やわらかい大きな手でもみもみしてもらうと、痛いところが治ります。おやおや、へびくんがおなががいたいとやってきました…。クスリと笑える楽しい紙芝居です。

『松本清張全集62』数の風景・黒い空

松本 清張/著 文藝春秋(913マツ)



再起を期する男が高圧線下野の長い土地に着目する「数の風景」。集まるカラスが“完全犯罪”を暴く「黒い空」。高圧電線とカラスから着想を得た80年代作の「黒の推理」二篇が収録されています。

予告

「ひるさがりの朗読会」Part3
を開催します！

開催日：6月16日(木)

詳細はチラシ・HPにてお知らせします☆



同日開催の「ザ・キャビンカンパニーワークショップ」では、たくさんのお子たちが遊びにきてくれました！

平成 27 年度ふわふわ作品展

期間：5月14日(土)～5月31日(火)

場所：八女市立図書館 本館

平成 27 年度に制作した作品を展示します。
展示終了後は貸出もできます。お楽しみに！



「くいしんぼうわにさん」



「みにくいあひるのこ」



「おむすびころりん」



「ななつのこ」



「さかな」



「ちいさいおおきい」



「Greeting」

八女市内の ボランティア紹介 第9回

布のえほん制作ボランティア

ふわふわ

私たちは、平成 20 年にまなびっと八媛主催の養成講座を受け、21 年にボランティアグループ「ふわふわ」を立ち上げました。スキルアップ講座に参加したり、黒木分館の布の絵本ボランティア「虹の会」の方と交流したりして腕を磨きながら、楽しく布の絵本を作り続けています。

毎年、一般の方向けに開催している「布の絵本講座」は、参加者の方々にもたいへん好評です。完成した作品は、参加者さんのアイデアもいっぱい、毎回講座を開いて良かったと感じています。きっと、子どもさんやお孫さんたちに“手作りの温もり”を伝えてもらっていると思います。



平成 27 年の布の絵本講座にて、参加者とふわふわメンバー。可愛くできました。みなさん笑顔ですね。

本館には、私たちの作品がたくさんあります。貸出できるものもありますので、どうぞ手にとって楽しんでください。

布の絵本に興味がある方や、手仕事が好きな方は見学に来てみませんか？お待ちしております♪

〔活動日〕

毎月 第1・3金曜日 13:30～15:30
八女文化会館 2階 研修室

昨年 11 月にオープンした、八女市岩戸山歴史文化交流館「いわいの郷」には、もう行きましたか？

今回は今から約 1500 年前に、北部九州一帯を治めた郷土の英雄筑紫野君磐井と、もう一人の重要な人物を紹介します。



いわいの郷

磐井のことについては、日本書紀では、大和政権に反逆した「磐井の乱」(527～528年)として記述されていますが、本当に反逆者だったのでしょうか？

当時、九州では有力な王たちが連合政権を作っていたのではないかと、という見方があります。大和政権が全国を統一する前、九州と大和はライバル関係で、磐井は九州連合政権のリーダーとして戦ったのではないのでしょうか。

おしえて！英くん

part5

ライバル



磐井と戦ったのが、大和政権の継体天皇(男大迹王)で、この大王の人生も、たいへんドラマチックなものです。

先代の武烈天皇が跡継ぎを決めずに亡くなったため、何代も遡って子孫をたどり、越前地方から迎えられました。しかし、大和に入ることができたのは即位から約 20 年後。彼の即位を認めず、抵抗する勢力があったからだと見られています。大和政権も混乱の時代だったことがうかがえます。

継体天皇が大和に入った直後に起こった「磐井の乱」。もし勝者が違っていたら、また別の歴史が流れていたのかも、と想像するとロマンがありますね。

英くん、もっと知りたい！

磐井と継体天皇についてもっと知りたい方は、この2冊の本で二人の古墳を比べてみましょう。

九州独自の石人石馬を並べた岩戸山古墳。日本書紀にもその記述があり、文献から埋葬されている人が推定できるのは、とても珍しいことなんです。



『筑紫野君磐井と「磐井の乱」・岩戸山古墳』
柳沢一男著/新泉社/K209.3 ヤ



『よみがえる大王墓・今城塚古墳』
森田克行著/新泉社/210.20

大阪府高槻市には、継体天皇の陵墓といわれる今城塚古墳があります。

200 体を超える様々な種類の埴輪が古墳の周囲に廻らされており、中には人の大きさほどのものもあって、日本の兵馬俑と呼ばれることもあります。

図書館員のおすすめ

BOOK

『風が強く吹いている』

三浦しをん
新潮社
913 ミウ



駅伝経験のない学生たちが、箱根駅伝をめざし箱根を走りぬくという一見ありえないようなお話ですが、読者はいつの間にか 10 人のランナーとともに走る苦痛と喜び、そして快感を味わえます。読後爽快な青春小説です。

八女市立図書館の
新しい職員を
紹介します

北川 直美です

皆さんよろしく
お願いします



発行：NPO法人 まなびっと八媛(八女市立図書館内)
住所：〒834-0031 八女市本町 536-3
電話：0943-22-2504